

令和5年第6回 吉田町教育委員会

- 1 開催期日 令和5年5月25日(木)
開会 午後 1時30分
閉会 午後 5時30分
- 2 場 所 吉田町役場 5階 会議室2
- 3 出席委員 塚本 成男 北澤 雅恵
増田 真也 中村 成宏
- 4 議場に出席した者の職氏名 教 育 長 山田 泰巳
学校教育課長 糸田 真男 生涯学習課長 中山 孝宏
学校教育課長補佐 山村 加奈子 主席指導主事 水嶋 浩之
指 導 主 事 平井 奉子 指 導 主 事 浅井 健
生涯学習課統括 久保田 智幸 生涯学習課統括 柳原 吉博
学校教育課統括 川本 貴浩 前社会教育委員長 長谷川敦己
社会教育委員長 杉山 俊夫
- 5 傍聴人数 0人

次 第 (会議録概要)

- 1 開 会
- 2 教育長の報告 資料No.1
- (1) 報告事項 5月の教育委員会の行事について
(2) 町内教職員の状況 教職員の新型コロナウイルスへの感染 ほか
(3) その他 EDIX (教育総合展) 東京でのプレゼンについて ほか
- 3 会議録署名委員の指名 北澤委員
- 4 議 事
- (1) 第9号議案 吉田町教育委員会事務事業点検及び評価に関する有識者の委嘱について 資料No.2

・事務局説明 ⇒ 採決 ⇒ 異議なし ⇒ 原案どおり承認

(2) 第 10 号議案 吉田町教育委員会事務事業点検及び評価に関する有識者の委嘱について 資料No.2

・事務局説明 ⇒ 採決 ⇒ 異議なし ⇒ 原案どおり承認

(3) 報告事項

ア 社会教育委員会の活動報告について 資料No.3

・社会教育委員会（杉山委員長、長谷川前委員長）から教育長へ報告書提出
(委員からの質疑・意見)

・学校運営協議会と地域学校協働活動の重なり合いについて、先日、住吉の子供を育てる会で、もう少し学校運営協議会と交わりを深めた方が良いと思った。それぞれが良いことをやっているが、CSD が先行して行って周りが少し付いていけない状況なので、皆で協力して運営協議会をもう少し活発化させて、それ以外の協働活動をされている皆さんとも一緒に実行していく組織が理想である。

・社会教育プラットフォームという発想は、学校は非常にありがたいことだと思う。CSD が入って、学校の要望を地域の人々に発信していく、地域の人々の思いを受け取る窓口になるというイメージで、CSD が活発化されるということが良いと思う。

・社会教育フェスティバルのような大きなイベントをやると、分かり合えるところが出てくると思うので、盛大に開催されることで横のつながりを密にしてほしい。小学校の学区ごとでは結びつきが強いと思うが、吉田町全体の結びつきはだんだん薄れていく可能性があるので、こういう機会に、子供たち自身も隣の学校との交流の良い機会になるので、是非盛大に開催されることを期待する。

イ 生徒指導について 【非公開】 資料No.4

ウ 児童生徒の区域外就学について 【非公開】 資料No.4

エ EDIX（教育総合展）東京について 資料No.5

オ 吉田探究担当者会について 資料No.6

(委員からの質疑・意見)

・授業を見ていて、探究サイクルを意識してそれを回そうとしているのはよく分かるが、課題が作業課題になっていることが多いと思う。サイクルを回すことに先生が集中していることが多いのではないか。そもそも疑問を解決するために探究している活動が少し薄いところが最近よくあるので、そういった点を教育委員会から伝えてほしい。

- ・静岡大学の藤井先生の教えと、各小中学校から出ている各校の計画は、もう浸透しているということか。住吉小学校の子供を考える会でも、こういうテーマになったので、地域に発信するということを発言した。コミュニティ・スクールで地域の人たちが学校に来るのはもちろんそうだが、学校から地域に発信するのも大事ではないかと伝えた。
- ・「問いの質」という話は具体的になっているのか。各計画を見ると、形ありきの雰囲気を感じる。いろいろな意見があって、ブレインストーミングの中で高まっていくという感じになって、そのために何をやるべきかを調べてくるというのが通常スタイルだと思うので、こういう形としてなったら良いなという思いがあるかもしれないが、果たしてそれが本来の目的を達するためのものなのかどうか。先生が子供の発想力を引き出していって、導いているところもあるのかもしれないが、いつの間にかこちらの方向になっていったという感じで、教員の資質が問われるなどと思った。問いの質、中身の議論を大切にして、形にならなくてもそのプロセスを大事に、形に引っ張られないようになったら良いと思った。

カ 新型コロナウイルス感染症への対応について 資料7

(委員からの質疑・意見)

- ・給食の時間の黙食はどうなっているか。 ⇒ 黙食はやっていない。文科省の通知では、「黙食は求めない、ただし、大きな声は控えるように」となっている。

キ 部活動の地域移行に関するアンケート結果について 資料No.8

(委員からの質疑・意見)

- ・ここ数年、部活動の活動日が限られていて早く帰る中学生が多いが、何をしているのか。どういう生活スタイルなのか。 ⇒ 月曜日と水曜日は部活動なしということ、数年前から実施している。運動部の場合、部活動がない日は地域クラブなどに参加していると思うので、部活動があった時と変わらない。地域クラブに入っていない子は、ゲームやネットをしているという話は聞いたことがある。完全自由加入制になって数年経つが、8割くらいの生徒が、なんらかの活動に入っている。今後、部活動の在り方協議会で、このアンケート結果等を含め、今後の部活動をどのようにしていくか、課題を洗い出しながら進めていかなくてはいけないと思っている。

(4) 協議事項

ア 吉田町教育大綱について 資料No.9

(委員からの質疑・意見)

【教育目標について】

- ・国も「生涯にわたって学び続けると」毎回言っている。国の基本計画の真ん中に

「人生100年時代、学び続ける」と記載されている。⇒ 県も全く同じである。教員もそうだが、子供自身が学校教育の中で完結できるものではない。生涯にわたって働いて、年を取っても学び続ける。吉田町でシニアカレッジをやっているというのは、そういうところにつながっている。だから、教育目標の作りそのものが、そうした学校教育だけではなくて、生涯にわたってというのがまず最初にあって、学びあい高めあうっていうのは、1人だけではなくて、今、協働的な学びも叫ばれているが、他と関わり合いながら学びあって、そのことが互いを高めあってというところの思いの中で作っていった言葉だと思う。

- 生涯にわたり高めあう。学びあい高めあう教育が主になっている、教育目標は。だから、結論がないというか、学び続けるという気がする。先に進むと、活力の源であり人生を切り開くための礎となると言っているが、ここが礎となるということ、ちょっとやっぱ違う。ここが礎となって何かがあるみたいな感じがあるけど。生涯にわたって学び続けるというのは、教育が礎になって、何かを切り開くということなのか。文章が長いのでこれをひもといていくと、この文章、専門家じゃないので分からないが、どうかなっていう気がする。この教育目標は前回と一緒か。⇒ 平成28年にできていたものと変わっていない。大綱であるから、あまり具体ではなくて、割といろいろなものが言われている。静岡県は「有徳の人の育成」ということで長年使われている。吉田中学校の学校教育目標も全く変わっていない。
- 吉田中学の体育祭と文化祭が活力祭に数年前から名前が変わった。活力というのは、吉田中学校、町で唯一の中学の一番目標となる言葉が活力だとするならば、活力が結論的というか、目標的な位置づけとして、活力という言葉を使ってもらいたいという気はする。吉田町にとっては、活力という言葉は特別な言葉だっていう意味合いがある気がする。⇒ どういう作りにしていくか。目標がまず決まったら、今度は目標から基本方針をいくつか柱立てを作る形になっている。今の作りというのは、教育目標そのものが、どちらかというとずっと学び続けるような人を作っていこうというような目標である。それで、今の活力みたいな、活力のある人を作っていこうという話になると、すごく絞られてくると思う。あまり絞りすぎていってしまうと、そこからの基本方針の作りもちょっと難しくなってくるかもしれないと思う。
- 「広く」をイメージして。前回もそういうことを言った気がするが、こういう人、

これをやるというのを絞ってしまわない方がいいのではないかと、これは大綱だから、どちらかという、基本方針の方の中身を一つずつ濃くやった。

- 生涯にわたり学び続けるというのは、とてもいい言葉だと思っていて。国の方針も一番はそこになっていると思う。個人的には生涯にわたり学び続ける人づくりの方が本当はいい。もうちょっと協働とかそういうことを表すと、学びあい高めあうという言葉になるので、この目標で良いと思う。
- 私もそう思ったが、「豊かで活気にあふれ、心を魅了するまち、吉田町」というのが、将来都市像というところだが、そういうところに関係するようになると、やっぱり生涯にわたり学びあいというのが学び続けるという意味でもあるということと、高めあうというのが社会性の育成とか、そういうような意味合いがあるのだろうなと思うと、学ぶことと社会性の育成だとか、そういうことを含めて魅了するまちの人づくりになれるような人づくりをする町として、こういう目標を立てようという意味合いになってくると思う。
- 前回の時は、学びあい高めあうというのは、社会性、みんなで高め合おうみたいな意味合いがあっていいって解釈をした。4年経ってみて、主体的な学びとか個別最適化した学びとかで言うと、実は学び合いて言っているけど、本当はもっと個を強くしなければいけないみたいな教育が現実には求められているのではないか。主体的にはまさにそんな気がして。学びあい高めあうなんて言われるのかみたいな気もしないでもない。社会性は当然必要なのだが、実は求めているところは、もっとシビアなところを求めている。主体性のことや多様性を認めるみたいな話になると、実はもっと個の成長を重視するような方針を国は言っているのではないかという気がする。それがいいとは思わないけど、言っているのではないかという気がする。それに整合するのかという気がする。
- もちろん学ぶのは個だが、個が学ぶ時に必要なのは、別の人。いろいろな人が知識を出し合って、それを学んでいくというそういう中で、1人が知識を調べてすることも必要かもしれないけれど、それだけじゃなくて、そうやって知識を高めたものをお互いに披露し合って、それが更に学びが磨かれていくというようなイメージ。そういうイメージの学び合いなので、個を強くするのは、もちろんそうかもしれないけど。じゃあ1人で学べば個が強いかというとそんなことはないというイメージである。
- 教育目標はこれでいいと思うが、下に記載される説明文に関しては、精査した方が良くと思う。

イ TCPトリビンスプランについて 資料No.10

(委員からの質疑・意見)

- 最初からずっと思っているのは、三者について、子供は必ず一番上にあると思っている。TCPは、三者がいつも同じレベルのような解釈をされるのは、納得が

できない。子供の教育のために教職員も働きやすい環境でいい教育をしてもらって、保護者には子供のためにいろいろ助けてもらいたいということだと思ふ。そこが最初から気になっている。

- 理想を言うと、子供たちが確かな学力を付けて、力を付けてもらいたい。保護者は安心して子供を預けられる学校であってほしい、教職員は働きやすい環境であってほしい、というのが理想だと思ふ。そのためにどうしたらいいかというのを一生懸命考えているのに、教職員のアンケートには、子供の点数が取れることが果たしていいのかとか、もっと休みが欲しいとか、働きに対してはそれぞれ多様性がある、みんな自由でいいじゃないかとか言われると、何のためにやるのかというのをすごく思ふ。管理職の人と話をする機会がほしい。どうやって伝えているのか。町でもっとやってくれ、業務委託増やしてくれとか。それは希望としては分かるけれども。それはもう結果として出してもらわないと。総合教育会議は町長もいるので、結果として出さないのに、どうすればいいのかと絶対に聞かれると思ふ。何かいつも迷走してくるイメージしかない。⇒ アンケートをとった時に、こういう意見があったから、全てそれをこっちが受け入れて、それに対する施策を考えなければいけないというよりは、アンケートの中身の精査、我々は精査をちゃんとしながら、何かの目的意識の中でどういうふうにしていくのがいいかというところの整理をしなければいけないと思ふ。だから、アンケートの意見があったからと言って、全部採用するわけではなくて、それはそれで置いておいてというようなものを作っていかなければいけないと思ふ。逆にアンケートの中で、先生たちが率直に思っていることというのがそうやって出てきているということが、こっちが把握はできているということにはなると思ふので、そうやって今度は、先生たちの意識も変えてというか高め、子供にとってどのような学校教育、若しくは生涯にわたっての教育というのを展開させていくのがいいのかというところから、こういうことが大事じゃないかというのを、行政サイドとしては押さえていくということが必要になってくると思ふ。そういうところを出してくれることによって、このプランというのは、こういう考えの下で進めていくものだということが押さえられていくと思ふ。
- ICT環境の整備のところ、整備の部分で、まだこれから整備しなくてはというところはあるのか。⇒ 今年書画カメラを入れて、実は、端末も5年という耐用年数を考えていくと、来年すぐではないが、7年度、8年度ぐらいは、新たな端末更新が絡んでくる。国が一体どこまで援助してくれるのかというのがまだ決まっていないという中で、いろいろな組織が国に要望を出している。文科省もそのことは頭に入れている。
- トイレの洋式化も一部残っているのか。⇒ 体育館に多目的トイレはあるが、男女のトイレがまだ和式である。94.1%が整備率というのは、これは体育館のト

イレというところがある。あと外トイレについては、今年度全部洋式化する。体育館をやるかどうかというのは、未定である。

- 電子黒板は整備率で何パーセントになるのか。 ⇒ 大型モニターと合わせて100%になる。現在、電子黒板ではないものが入っている教室がいくつかあるが、電子黒板で揃えたいが、そこは財政との協議になる。
- 町長にはそれらを活用した良い授業を見てもらいたい。 ⇒ 一度端末が入った時に町長たち幹部にも見に行ってもらったが、そういうお金を掛けた部分というのが、どういうふうに学校で活用されているかというのは、町の幹部にも見てもらって理解をしてもらうことは非常に大きいと思う。

5 その他

- 教育委員報告
- 今後の教育委員会等の予定について

6 閉会